

CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-ウェルネスオフィス2025年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-WO.2025v1.0

1-1 建物概要		1-2 評価パターン	
建物名称	東京建物本社(TOFROM YAESU TOWER)	階数	地上51F、地下4F
建設地	東京都中央区八重洲一丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	24,102 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店舗、劇場、集会所、診療所、共同住宅、バスターミナル、自動車庫、自転車駐輪場	評価の段階	設計段階(竣工)評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2026年2月27日
敷地面積	10,604 m ²	作成者	日建設計総合研究所 坂井友香
建築面積	8,408 m ²	確認日	2026年3月31日
延床面積	189,674 m ²	確認者	東京建物 小谷 真樹



2-1 総合評価

Rank: S 88.4 /100

S ランク: ★★★★★ > 75
 A ランク: ★★★★☆ ≧ 65
 B+ランク: ★★★☆☆ ≧ 50
 B-ランク: ★★☆☆☆ ≧ 40
 C ランク: ★☆☆☆☆ < 40

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

Qw1 安全・安心性 Qw2 健康性・快適性 Qw3 知的生産性向上

2-3 中項目の評価(バーチャート)

基本性能・運営管理・プログラム

Qw1 安全・安心性

Score: 4.6

Qw2 健康性・快適性

Score: 4.3

Qw3 知的生産性向上

Score: 4.6

業務範囲別評価

知的生産性の視点に基づいた評価

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・ビルは、東京駅八重洲口の正面に位置する、好立地性を生かし、『国際業務拠点に相応しい、高規格なオフィスとする』をコンセプトとしている。また、緑景を効果的に生かし、自然的で開放感のある空間を作り出している。 ・東京建物本社は、「Teamwork」「Diversity」「Openness」をキーワードに掲げ、ワーカーの健康や働きやすさに配慮した多様なワークスペースを提供している。		
Qw1 安全・安心性 ・ビルはブレイキングダウンの採用や被災状況判定システムの導入など、災害の被害を抑制・把握する計画により、利用者の安全・安心性に寄与する取組を実施している。	Qw2 健康性・快適性 ・執務空間の空調や照明、音環境の整備、エルゴノミクスに基づいた什器として、全席電動昇降デスクを配置している。 ・執務空間への階段設置のほか、コンディショニングルーム、仮眠室、シャワールーム等を設けている。	Qw3 知的生産性向上 ・各フロアにゆやかな部署配置を設定した中でグループ内フリーアドレス制を採用。本社在籍社員に対し100%以上の執務デスクを用意し、執務空間全体にOA機器や作業に合わせた空間や什器を充実させる他、オープンミーティングスペースや集中エリア、リフレッシュゾーンなど多様なワークプレイスによる最適な執務環境を整えている。